

The Center for the Study of the Presidency and Congress(CSPC)
米国での研修プログラム（米国政治関係）2012-2013 Presidential Fellows Program
学内募集要項

2012.01.31

1. 概要

米国の The Center for the Study of the Presidency and Congress (CSPC)が主催する「2012-13 Presidential Fellows Program」への日本人学生派遣プログラムです。米国の若者の公共奉仕、リーダーシップ育成を目的とし、大統領制度、政策プロセス、メディアとの関わり等を研究する機会を同フェロープログラムは提供しています。毎年米国のトップ大学の学生、最大 75 名が参加し、2010 年度は全米各地の大学から 66 名が参加しました。

2011 年度から(株)トヨタ自動車の支援により、国際的視野を持つ日米関係の次世代人材の育成に資するため、日本人学生にも門戸を広げ、各大学を通じて、*日米研究インスティテュート (USJI) が最終選考を行います。

採用された学生は 10 月の第 1 回フェローシップ会議に参加し、ホワイトハウスや議会のスタッフらと意見交換を行う等、政治の現場を体験します。また、自ら関心のある政治・政策に関わる課題について研究を行った上で、レポートを提出し、3 月の第 2 回フェローシップ会議で発表することが求められます。

*日米研究インスティテュート(USJI)とは、2009 年 4 月、京都大学、慶應義塾大学、東京大学、立命館大学、早稲田大学(幹事校)の 5 大学が中心となり、安全保障、環境・エネルギー、東アジア共同体・APEC を研究テーマの柱として、ワシントン D.C.に設立した米国 NPO としての資格を取得しているシンクタンクです。将来の日米関係を担う次世代人材育成もミッションの 1 つです。

URL: <http://www.us-jpri.org/index.html>

2. 研修地

米国・ワシントン DC

3. 研修スケジュール

<第 1 回フェローシップ会議>

期間：2012 年 10 月 28 日（日）－11 月 4 日（日）（予定）

内容：議会、政府訪問、メンターアサイン、ディスカッション研究テーマ決定等

<第 2 回フェローシップ会議>

期間：2013 年 3 月 17 日（日）－24 日（日）（予定）

内容：研究成果発表 等

4. 派遣学生数

USJI 発起 5 大学から各 1 名推薦し、そのうち年間最大 2 名を派遣する。

5. 参加資格

以下の要件をすべて満たすこと。

(1) 申請時及びフェローシッププログラム参加期間を通じ、本学学部又は大学院研究科・教育部の正規課程に在学する者。留学中の学生については、部局担当者を通じ、国際交流課へ事前に相談すること。

国際交流課 (intex-ut@ml.adm.u-tokyo.ac.jp)

*例年米国側フェロー学生は、参加時に学部4年生であるが、大学院生や優秀な4年生以下の学部学生も応募可能。

*全ての学科・専攻からの応募が可能。

傾向として過去のフェローの専攻、副専攻は、「政治」、「歴史」、「国際関係」、「ビジネス」、「哲学」、「経済」、「公衆衛生」、「ジャーナリズム」。

(2) 日本国籍を保有していること。

(3) 成績優秀であること (CSPC では US 学生には GPA3.5 以上、平均して A-の成績が望ましいとしている)。

(4) 英語による議論、ライティング能力が米国学生と比べても問題ない能力を有していること。また、アメリカ政府、国際関係への強い興味を持っているとともに、ディスカッションの場で日本の時事問題について語ることができ貢献できること。

(5) 米国大統領制(U.S. Presidency)・米国議会等に直接関連するテーマでオリジナルの研究を行うこと。10-15枚(シングルスペース)の最終報告書を2013年5月までに作成すること。その他、CSPCの要請に応じて Proposal や Blog Post 等の作成等に応じること。

(6) プログラム参加において、授業履修や研究指導等に支障がないこと(授業や学事を理由とした参加期間途中の辞退・中止は認められないので注意すること。)また、申請の際には、本学の授業・試験日程を各自事前に確認の上、履修において不利益とならないよう注意すること。また、派遣時における本学の指導教員等が既に分かっている場合は、本プログラムに申請することを事前に報告し、了承を得た上で申請書の所定の欄に署名を受けること。上記に該当する教員等がない学生は、派遣時に所属する予定の部局の担当部署にその旨報告・相談すること。

(7) 派遣時に所属する予定の部局の担当部署に相談し、申請前に派遣に関する学務上の留意点の説明を充分受け、申請書の所定の欄に署名を受け、納得した上で申請すること。

※各部局の担当部署については、後日「海外留学の案内」ホームページに掲載予定。

http://www.adm.u-tokyo.ac.jp/res/stuex/university/un_cspc_fellowsprogram_2012-13.html

(8) プログラム参加において、指導教員が Faculty Advisor としてプログラム期間中のレポート作成時などに実際に参加学生に対してアドバイス等することについて、事前に指導教員に了承を得ていること。

(9) 参加期間中の不慮の事故や疾病をカバーする海外旅行保険に加入すること。

6. 費用

渡航費、現地滞在費、ホテルでの食費 DC 内での会議にかかわる交通費は CSPC が負担。

(但し、現地での医療費、海外旅行保険費用は除く)。詳細については選考決定後に配布される「International Welcome Packet 2012-2013」を参照のこと。

7. 応募締切

所属部局により異なるので、各自現在所属する部局の担当部署に確認すること。

※CSPC、USJI の募集要項等記載の締切日とは異なるので注意すること。

8. 応募方法

(1) 「9. 応募書類」欄に記載の応募書類一式を紙媒体で、現在所属する部局の応募締切日までに、現在所

属する部局の担当部署へ提出すること。

- (2) 紙媒体とともに、応募書類のうち①2012-2013 CSPC フェロープログラム学内申請書 (Word ファイル・署名前のもの)、②2012-2013 CSPC フェロープログラム申込書 (Word ファイルに写真データ貼付のもの、又は写真を張り付けた上で PDF ファイル化したもの)、③2012-2013 CSPC Application for International Students (Word ファイル)、④英文履歴書(CV) (書式自由)、⑤2012-2013 CSPC フェロープログラム成績評価係数計算表 (Excel ファイル) については、応募締切日までに現在所属する部局の担当部署宛にメール添付でも送付すること。

送付先：所属部局担当部署

メールタイトル：2012-2013 CSPC フェロープログラム申請 (所属・氏名)

データファイル名：「(所属・氏名) 2012-2013 CSPC フェロープログラム学内申請書」

「(所属・氏名) 2012-2013 CSPC フェロープログラム申込書」

「(所属・氏名) 2012-2013 CSPC Application for International Students」

「(所属・氏名) 英文履歴書(CV)」

「(所属・氏名) 2012-2013 CSPC フェロープログラム成績評価係数計算表」

9. 応募書類

- ① 2012-2013 CSPC フェロープログラム学内申請書 (所定様式・和文)
必ず署名を入手すること。
- ② 2012-2013 CSPC フェロープログラム申込書 (所定様式・和文)
裏面「各大学所見欄」は指導教員に記載してもらうこと。
(①、②の記入内容に重複があるが、①は学内用、②は提出用のため、両方省略せず記入すること。)
- ③ 2012-2013 CSPC Application for International Students (所定様式・英文)
パスポートサイズの写真を別途提出するよう記載があるが、これは②2012-2013 CSPC フェローシッププログラム申込書貼付の写真を代用するため、写真のみのデータ提出は不要。
- ④ 英文履歴書(CV) (書式自由)
- ⑤ 2012-2013 CSPC フェロープログラム成績評価係数計算表 (所定様式)
(①～③、⑤の様式は本学「海外留学の案内」ホームページからダウンロードすること。
http://www.adm.u-tokyo.ac.jp/res/stuex/university/un_cspc_fellowsprogram_2012-13.html)
- ⑥ 大学入学後全学期の成績証明書 (英文又は和文) の写し
- ⑦ 英語能力を証明する書類
原則、TOEFL PBT/iBT/CBT、あるいは IELTS の成績証明書の写し。その他 TOEIC、実用英語技能検定の成績証明書の写しでも可とする。(受験後にウェブ上で確認できるスコアの写しでも可)
・その他の英語能力試験等の成績証明書を提出する場合は、その成績証明書の写しと併せて、その英語能力試験等に関する説明文書 (様式任意。ただし A4 サイズ) を提出すること。説明文書の内容には、試験概要や、上記の英語能力試験への成績換算表等を含めること。
・英語能力試験等を受験していない場合は、参加コースを受講するのに必要な英語能力を有していることを説明する理由書 (様式任意。ただし A4 サイズ) を提出すること。(例：英語圏の高等学校を卒業、等)

10. 選考

- (1) 本学において3月に学内選考を行い、派遣候補学生をUSJI日本オフィスへ推薦する。
- (2) 学内選考の結果は3月中に、申請部局の部局長あてに通知する。
- (3) 【USJIでの選考】各大学で1名選考された上、日米研究インスティテュート（USJI）で最終選考を行う。最終選考結果は、4月中旬（予定）にUSJI日本オフィスより各大学窓口および学生本人へ連絡する。

※個人情報の取り扱い

提出書類に記載された情報は、全て各大学事務局を通じて、USJIおよびCSPCに提供されますので、予めご了承ください。なお、いただいた情報は、厳重に管理の上、このプログラムの目的以外には使用いたしません。

1.1. 受入決定後の留意事項

- (1) 渡航手続き等は、CSPC、USJI等の指示に従い、本人の責任により行うこと。また、これらに要する費用も本人の負担となる。
- (2) やむを得ない事情により派遣を辞退しなければならない場合は、早急に所属する部局の担当部署を通じて本部国際交流課へ連絡すること。
- (3) 一般的な海外渡航のための情報や危機管理等については、本学ホームページ「東京大学 海外留学の案内」を参照すること。<http://www.adm.u-tokyo.ac.jp/res/stuex/index.html> また、派遣期間をカバーする海外旅行傷害保険等に各自必ず加入して渡航すること。
- (4) 所属部局の指示に従い、海外渡航に必要な手続きを行うこと。（手続きについては、派遣時に所属する部局の担当部署にて相談すること。）
- (5) 指導教員等の関係者には事前に連絡するなどして、海外に一定期間派遣されることにより指導教員等の関係者に迷惑をかけないように努めること。

1.2. プログラム参加の際の注意事項

- (1) 本プログラムの趣旨を十分理解の上、十分な学習成果を挙げ、プログラムを修了することに努めること。
- (2) 本学から選抜された代表学生として派遣されることを自覚し、派遣先国の法令、規則、規程、マナー等を遵守すること。

1.3. 留学後の報告等

- (1) 派遣学生は、プログラム終了日から2週間以内（必着）に「2012-2013 CSPC フェロープログラム報告書」（所定様式）を本部国際交流課(intex-ut@ml.adm.u-tokyo.ac.jp)へ提出すること。なお、提出された報告書は、学内外の広報等に活用する可能性があるため、個人情報の観点等を十分に鑑み、出版物・ホームページ等に掲載可能な内容とすること。
- (2) 応募時の申請書に記載の住所や電話番号・メールアドレスに変更があった場合は、所属部局で所定の手続きを行うとともに本部国際交流課へも連絡すること。帰国後の必要事項の連絡の際に必要となる。

1.4. 関連ホームページ

CSPC 概要：

<http://www.thepresidency.org/what-we-do/current-programs/presidential-fellows-program>

参加校：

<http://www.thepresidency.org/what-we-do/current-programs/presidential-fellows-program/fellows-schools>

前年内容：

<http://www.thepresidency.org/what-we-do/current-programs/presidential-fellows-program/international-presidential-fellows>

東京大学「海外留学の案内」ホームページ：

http://www.adm.u-tokyo.ac.jp/res/stuex/university/un_cspc_fellowsprogram_2012-13.html

15. 問い合わせ先

- (1) 申請の手続きに関すること：現在所属する部局の担当部署
- (2) その他の事項：本部国際交流課学生・研究者交流チーム (intex-ut@ml.adm.u-tokyo.ac.jp)